

風となれ。

Be the Wind.

ひかりとなれ。

Be the Light.



こころ豊かにあるために、
輝くために。

2019-2020 年度
西日本区理事 戸所 岩雄

今回で5号の発行となります。期首に取り組み始めた多くの事案が動き始めるとともに成果を生み出して来ます。より大きな成果となる様、この時点で今一度見直し、修正すべき点は修正し、着実に歩んでゆきましょう。

被災地支援募金のお願い

台風15号、19号の被災の状況が明らかになるにつれ、今回の被害の大きさが甚大なものである実態が分かってきました。又、各方面から多くの支援の手が差し伸べられている現在、私たち西日本区のワイズメンも出来る限り、的確かつ効果的な支援を行ないたいと考えています。

機会ある毎の募金への皆様の協力を宜しくお願いします。

「ワイズ起こし運動」に「新生ワイズ起こし運動特別資金」を積極的かつ効果的に活用下さい。

ワイズメンズクラブを次代にあっても社会に必要とされる魅力的奉仕団体としてより成長させていくことへの取組みの必要性をメンバー全員が考えている今日、その応援の手立てとして歴史的決断をして頂いた“特別資金の活用”を躊躇せずに行いましょう。

その申請審査として下記のように考え運用をお願いしています。参考にして下さい。また申請にあたっての相談・質問等をどしどしお願いします。(新生ワイズ起こし運動特別資金活用審査委員会)

各部の現在の状況を鑑みゴール(期限と効果目標)を定めた一連の取組み(ストーリー性)の中でその目標を達成するための一事案として位置付けられる行為であることが好ましいと考えます。又、その一事案そのものもワイズ活動(Yサ、地域奉仕環境事業等の社会貢献)に資するものであることが原則だと考えます。

その結果として認知度の向上等につながるものであってほしいと考えます。

国際議員の投票を必ず行いましょう

国際議員選挙の投票を必ず行いましょう。

下記選挙が、令和2年1月末を期限として行われます。

各クラブ会長が投票権者です。大切な選挙ですので、必ず投票をお願いします。

- ・ 2020-2021 年度 次期国際会長
- ・ “ ” 次期国際会計
- ・ 2020-2022 年度 アジア太平洋地域選出議員
(2021-2022 年度 アジア太平洋地域会長候補を兼ねる)



11月2日

中部理事懇談会 Part2

於：金沢市長土塀青少年センター KKR ホテル金沢



9月11日に行われた中部理事懇談会に、北陸からの参加が少なかったことを受け、Part 2として金沢にて開催頂きました。金沢クラブの特色のひとつであるメネットがメンと一体となり活動しておられる状況をお聞かせ頂き、今回のこの懇談会も多くのメネットの方の参加を頂きました。「地道に今の状況を楽しみながら、この運動が続けば良いと思う一方、高齢化はまぎれもない現実であり、この良さを生かしたクラブとしてあり方を考えながらメンバー増強の手立てを探すという課題を考えてゆきたい」というのが、大方の御意見でした。

一方、新生なった富山クラブは、翌日のYMCA 関連行事の準備ということで、清水会長一人の参加であったことは少し残念ではありました。現在 YMCA への支援に片寄りがちになっている日頃の活動を思い「YMCA を支援するという第一義の目的に資することではあるが『ワイズ活動』へのメンバーの関心を高揚したい」と述べておられました。

懇談会后、場所を金沢城近くのホテルに移し、美しい城郭の夜景を楽しみながら、メネットの方々の熱心な思いも交え、ワイズ談義が深まってゆきました。



11月9日

第2回役員会

於：ホテルクライトン新大阪

この役員会を今期中間点と位置付け今までの行動計画・実行の確認と、必要なら修正を行ない、3月末を目途に成果を成し仕上げをして5月末までに総括し、次期の役員の方々に効果的につなげることの大切さを述べさせて頂きました。

主任、部長、常置委員長、選任委員(長)からの報告、大切なパートナーである日本 YMCA 同盟からも報告を頂きました。(役員会報告を参照)

その後、5つの議案が承認され、協議事項に移りました。

今後の西日本区にとって大切な協議として

- ・第3号議案 役員研修会、会長主査研修会のあり方について
- ・第5号議案 国際、地域での決議内容への対応について

等が、熱く協議されました。

(詳細は役員会報告を参照)





11月23日
24日

次期役員研修会

於：ホテルクライトン新大阪

次期理事や次期主任・部長の方々の方針発表と、部長グループ・主任グループに分かれての、新旧揃っての会議・協議が行われました。又、模擬役員会が行われ、本番さながらの熱い議論が交わされました。



次期役員の方々

11月24日

将来構想検討委員会

於：西日本区事務所

「ワイズ起こし運動」の始動の気運を感じながらも、各部にあってその高まりがいまひとつ少ない部への応援をどの様にしてゆくか、の議論がなされました。

“押しかけ応援隊”など今後さらにアピールを強めるとともに”ワイズ起こし通信”を発行し各部の動きを周知して頂くことに努めることになりました。

11月25日

西日本区大会実行委員会

於：滋賀 YMCA 会議室

あと6ヶ月となった大会本番へ向けて、具体的な内容、段取り等、真剣な意見交換がなされました。今期の集大成として「身をもって好ましき変化を感じて頂きそして喜んでいただける大会」を目指して準備が進んでいます。参加し易く豊かな交流と学び楽しむ大会になると確信していますので

メンバー皆様(今まで西日本区大会をご遠慮しておられた方々も)挙ってご参加をお願いします。

11月30日

第一回ワイズ地域フォーラム

於：奥琵琶湖マキノグランドパークホテル

びわこ部の一連の「ワイズ起こし運動」のひとつとして滋賀県湖西地域で奉仕活動をメインテーマにしたフォーラムが開催されました。(詳細報告は次号にて)

第2回役員会議事録【議案・協議案のみ】

開催日時 2019年11月9日(土) 午前11時00分 開催場所：ホテルクライトン新大阪
出席者：44名(兼任除く)

【第1号議案】

提案者:書記 河口裕亮

議案名	第1回役員会議事録承認の件
議案内容	2019-2020年度 第1回役員会議事録承認の件
提案理由	次頁以降に記載されました西日本区第1回役員会(2019年7月13~14日)における議事録の承認をお願いいたします。

<審議の結果> 全員賛成により承認(承認17)

【第2号議案】

提案者:直前理事 遠藤通寛

議案名	第22回西日本区大会 会計決算報告書 承認の件
議案内容	本年6月に開催された第22回西日本区大会における会計決算報告承認の件
提案理由	おかげさまで、第22回西日本区大会は、738名の登録を得て、盛会となりました。感謝いたします。 別紙決算報告書通りの報告であります。余剰金または欠損金は生じておりませんので処分金、補填金の必要性は生じておりません。第22回西日本区大会決算報告書につきご承認いただきたく思います。

<審議の結果> 全員賛成により承認(承認17)

【第3号議案】

提案者:行政監事 大野勉

議案名	「ワイズ・YMCA パートナーシップ検討委員会」を西日本区特別委員会として位置付け、加えて委員会規則を設ける件
議案内容	「ワイズ・YMCA パートナーシップ検討委員会」を西日本区特別委員会として位置付け、ロースターに掲載することで、区内へ明確にその存在を広める。 資料「ワイズ・YMCA パートナーシップ検討委員会規則(案)」
提案理由	2017-2018年度第1回役員会にて、「ワイズ・YMCA パートナーシップ検討委員会」の設置については承認され、すでに5回会合が開かれております。この委員会は、東西日本区から3人、日本YMCA 同盟から3人(2名は誤り)、リエゾンとして東西から1人ずつのメンバーであるため、これまでロースターには記載されていませんでした。会合の内容については、役員会や理事通信等で報告していましたが、認知度が低かったのが現状です。そこで、特別委員会として位置付けをすることで、区内へ明確にその存在を広めることができると考えます。

<審議の結果> 全員賛成により承認(承認17)

【第4号議案】

提案者:会計 伊藤文訓

議案名	旅費支給細則 別表「旅費支給範囲一覧表」の追記訂正の件
議案内容	別表「旅費支給範囲一覧表」の、会合の種別「事業委員会等」・役員の種別「LD委員」欄に「○」を追記し、一覧表を訂正いたします。
提案理由	定款施行細則において、ワイズリーダーシップ開発委員会は、常置委員会に分類され、会合の種別としては「事業委員会等」に該当します。現状の一覧表では、役員の種別欄に常置委員であるLD委員が別掲されており、事業委員会開催時の旅費は支給対象になっていないのが現状です。 しかし、前期までの運用は、常置委員として、もしくは理事が必要と認め、常任役員会の承認を得て支給されていると想定され、どちらとも、解釈できる一覧表になっています。そこで今回「○」を追記し支給対象を明確にしたいという理由からです。

<審議結果> 全員賛成により承認(承認17)

【第 5 号議案】

提案者:次期理事 古田裕和

議案名	第24回西日本区大会ホストクラブ、開催地および日程承認の件
議案内容	1) ホストクラブ 京都トゥービーワイズメンズクラブ 2) 開催年月日 2021年6月5日(土)～6日(日) 3) 開催場所 ウェスティン都ホテル京都(京都市)
提案理由	例年は慣例として6月第2週末に開催していますが、東日本区大会が都合により第2週末となったため、6月第1週末の開催としました。大会・懇親会ともウェスティン都ホテル京都を会場として確保していますので、ご承認いただきたく思います。

<審議結果> 全員賛成により承認(承認 17)

【第 1 号協議】

提案者:理事 戸所岩雄

協議名	2019-2020 年度 第 2 回役員会災害復興支援献金贈呈先協議の件
協議内容	第 2 回役員会にてワイズメンより寄せられた献金について、支援対象を協議したい。
提案理由	今期の事業目標達成のための一助とさせていただきます。

<協議終了>

【第 2 号協議】 最後に協議

提案者:会計 伊藤文訓

協議名	2019-2020年度 西日本区予算案(西日本区大会時の旅費補助)に関する件
協議内容	第1回役員会(2019.6.29) 第1号協議書の協議結果にもとづき、次のとおり現状を踏まえ再考案を提案しますので、協議願います。
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前期代議員会の旅費補助の算出実績は、直前部長分が、¥65,400— クラブ会長分が、¥636,900 で、計¥702,300 でした。今期は、滋賀県大津市内実施のため、前期の70%で計算すると、約¥750,000 程度の補助負担が見込まれ、現在の施行細則(50%)をあてはめると、約¥220,000 の負担減が見込まれます。さらに役員会・準備役員会出席者分を含めると合計で約¥350,000円の負担減が見込まれます。 ○ しかしながら、年次代議員会に遠方から出席されるメンバー・クラブの負担増、すべてのワイズメンに公平な負担を、ということも斟酌すると、西日本区大会に出席するのだからという理由が主で50%としたのもどうかとは思われます。 ◎ そこで、提案として「西日本区大会時の旅費補助負担額」に限り、会計が事前に算出した、実費額を元にするのではなく、クラブ・部の代表として出席されたワイズメンが合理的かつ確かな手段(経路)で出席された、支払実費(領収書などの写し・痕跡を添付)を書面で提出し、その合計額から、すべての出席者に公平な負担額(仮に 2,000 円～3,000 円)を差し引き、後日、各部を通じて出席者に支給する、という(案)を提案するものです。再度協議いただきたく考えます

<協議終了>

【第 3 号協議】

提案者:理事 戸所岩雄

協議名	役員研修会・会長主査研修会のあり方について
協議内容	役員研修会・会長主査研修会に掛かる費用(メンバー負担登録料、西日本区持ち出し分)を軽減しつつ、現状よりもさらに効果的な研修会に改善するべく解決策を模索したい。(資料あり) (会長主査研修会 例) 単日開催 - 会場費、宿泊費軽減 開催時間を早め、2日目終了時間を正午とする - 昼食費、午後からの会場費軽減 会場の変更 (役員研修会 例) 開催時間を早め、2日目終了時間を正午とする - 昼食費、午後からの会場費軽減 現役員の出席義務免除 など

提案理由 例年、役員研修会、会長主査研修会を共に1泊2日の日程で開催していますが、会場費の高騰により、年々対象者の方々の登録費を値上げせざるを得ない状況が続いています。尚且つ西日本区会計にも相当の負担が生じており、これが区会計を圧迫しているといっても過言ではありません。ただ、金銭的な節約のためだけに研修プログラムに悪影響を与えることは極力避けるべきと考えます。皆様のお知恵やご意見をお伺いしながら、改善を進めたく考えます。

・戸所理事:いろいろなご意見をいただいたことを踏まえて、何らかの対応を考えたい。＜協議終了＞

【第4号協議】

提案者:理事 戸所岩雄

協議名	「P. W. アレキサンダー遺産計画」への西日本区としての取り組みについて
協議内容	今年度の国際協会にて「Challenge 22」への取り組みが議決され、西日本区へも多額の献金要請が届いています。これについて区としての対応を協議したい。
提案理由	国際協会「Challenge 22」への取り組みとして以下が議決されました。 P. W. アレキサンダー遺産計画 ＜計画の概要＞ オハイオ州トレドに墓碑、記念壁設置、トレドの公園の名称を変更 記録文書のデジタル化、公開 ジュネーブの国際本部の事務所スペース購入 新しい国際奉仕プロジェクトの開設 ＜献金目標＞ 2019年度から3年間で100万USドル、アジア太平洋地域:10万USドル、東日本区23,661USドル、西日本区40,765USドル、個人献金額に応じて表彰

＜協議結果＞ 継続協議

【第5号協議】

提案者:理事 戸所岩雄

協議名	ASF 献金の国際教会への送付率変更依頼に対しての西日本区としての対応について
協議内容	国際協会からのASF 献金増額依頼について、区としての対応を協議したい。
提案理由	国際からはASF 献金として、原則、区で集めた献金額の10%相当を送付するよう要請がありますが、例年西日本区からは、Y サ・ASF 献金として頂いた浄財から定額20万円の送付を致しております。今回国際より、今期は20%相当、次期は30%相当の献金増額を求められていますが、単純計算でも今期40万円、次々期60万円の送付を要求される事となります。区財政が非常に厳しい中、区としての対応を協議したく考えます。

・戸所理事:西日本区の総括的な意見として承っております。＜協議終了＞

12月は EMC-E 強調月間

Eとはエクステンションです。新クラブの設立の強化月間になります。

EMC 事業主任 牧野篤史（京都トップス）

今期はびわこ部の湖西にて来春に新クラブ設立予定です。エクステンションをするには、それぞれのクラブで「中堅メンバー」を育成する必要があります。EMC シンポジウムでお伝えした、「メンバーの段階的成長」を考え、エクステンションが出来るように、それぞれのクラブが「力」をつけましょう。また、YES 献金のご協力も重ねてお願い致します。YES 献金とは、新クラブ設立に必要な資金です。

近日中に、「西日本区発展アクションプラン」を事業通信特別号で掲載いたします。部やクラブにおいて、様々な特性があり状況が異なります。メンバー数の多い京都部、九州部、六甲部の発展要因を解説し、それぞれのクラブの状況に応じた、「発展アクションプラン」を提案させて頂きます。解説動画も準備させて頂きますので、各クラブの研修会等でご活用頂き、必要であれば説明にお伺いさせて頂きます。2022年に2022人を目指して「本気」で取り組んでいきましょう！

今月の聖句 2019 年 12 月

詩編 133 編 1 節

見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び。

西日本区チャプレン 立野泰博 (熊本ジェーンズ)

聖書の小窓「何もしないでいなさい」

教会に訪ねてこられた方から、「牧師さんは普段は何をやっているのですか？」と聞かれました。あらためて聞かれると考えてしまいました。何もしていないようで、何でもするのが牧師かもしれません。パウロが「福音のために何でもする」のなかには何でも入るのです。それが福音のためならば。

ラジオでこんな笑い話を聞きました。「ある所に一人の貧しい鍛冶屋がいました。仕事は熱心に休まずしていましたが、働いても働いても豊かになりません。それどころか生活は貧しくなるばかりです。それもそのはず、彼には次から次へと子どもが与えられ、八人の子持ちになっていたのです。彼は思いつめ牧師に相談することにしました。『牧師様。私は熱心に働き、ありとあらゆることをやってきました。しかし、ますます貧しくなってきました。このうへ何をすればよいのでしょうか』。牧師は彼にたった一言いいました。『何もしないでいなさい』」

やればやるほどダメになっていくことがあります。これだけやったと思うほどやってないこともあります。何もしてないようで、何かがおこっているのが神様のやり方かもしれません。年の終わりにワイズ活動を振り返り、共に座って考えてみるのもいいですよ。

<編集者から 訂正とお詫び> 理事通信の7月号から11月号まで立野チャプレンのお名前の漢字が間違っておりました(正しくは泰博さんです)。お詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

YMCA 便り

日本 YMCA 同盟 ワイズメンズクラブ西日本区
担当主事 光永尚生 (三島クラブ)

12 月・師走

今年も「光陰矢の如し」で、12 月を迎えました。クリスマスは一般的に知られていますが、実は、12 月の第 1 週から 4 週間は、待降節(アドベント)と呼ばれる時期となります。子供たちが、クリスマスプレゼントを待ちわびるように、私たちがイエスの誕生を祝うために待ちわびるという意味があります。

今年は、12 月のクリスマスを温かく、豊かな時間の中で過ごせない方たちが、例年以上に多くいらっしゃるのではないかと心が痛みます。私たちは、毎年、国際協力や青少年育成のための「年末募金」を進め、多くの YMCA、ワイズメンズクラブで募金活動にかかわっていただきます。ほんとうに、つながりに関わりの中で進められていると、毎年実感しています。マザーテレサは、「愛」の対極にあるものは、「無関心である」と言いました。

私たちは、日ごろ愛されたい存在ではありますが、12 月は、いつも以上に、「愛されるよりも愛すること」を実践できる時にしたいものです。皆様の祈りの中に、今も苦しみの中で過ごす方たちのことを覚

えていただき、ポジティブネットのある豊かな社会づくりに参画いただければ幸いです。

各 YMCA での様々な活動に対して、いつも温かいまなざしでご支援をいただきありがとうございます。素敵なクリスマスをお迎えください。



理事懇談会情報

共に語る会（理事懇談会）の開催

ワイズメンの活動が活発に行われるために西日本区全体の情報の共有と協働・協力が大切と考え「共に語る機会」を持ちたいと思いました。

今期具体的なアクションへと移行して頂く為に、期首に各部部長様の計らいで実現しました。一方通行の会議ではなく部長、主査、クラブ会長の方々と忌憚ない意見を交わす場になれば幸いです。

【開催実績】

- <6月16日 京都部> 理事通信7月号にて既報
- <7月15日 瀬戸山陰部> 理事通信8月号にて既報
- <7月27日 中西部> 理事通信9月号にて既報
- <8月3日 びわこ部> 理事通信9月号にて既報
- <8月24日 西中国部> 理事通信9月号にて既報
- <9月11日 中部① 名古屋YMCA> 理事通信10月号にて既報
- <9月21日 九州部> 理事通信10月号にて既報
- <9月28日 六甲部> 理事通信11月号2Pに掲載
- <11月2日 中部② 長土塀青少年交流センター> 2Pに掲載
- <12月7日 阪和部 大阪YMCA> 開催予定

オフィシャルエージェント募集のご案内

次年度に第74回国際大会および第18回IYC(インターナショナルユースコンボケーション)が、デンマークのオーデンセにて開催されます。大会開催に参加される皆様の安全と利便性を考慮し、オフィシャルエージェントを募集します。

【開催日程】 第74回国際大会 2020年8月13日(木)～8月16日(日)

第18回IYC(インターナショナルユースコンボケーション) 2020年8月10日(月)～8月16日(日)

【資格要件】 国内外に於いて主催旅行を企画できる資格のある事業者であること。緊急の場合に於いて日本国内での対応が出来ること。国際大会の登録、運営についての知識があること。

【申込締切】 2020年2月15日(金)

【申込先】 西日本区 書記 河口 裕亮 宛 E-Mail: hiroaki@hikonnnect.co.jp 携帯:090-8757-7694

【新設】 掲示板

多くの多様なご意見があるのが、ワイズの財産。誰もが自由に投稿できます。意見交換の場としてご利用ください。(原則、全文掲載します。)

「ワイズと我が家」

金沢クラブ 朝倉みゆき

11月2日(土)、西日本区理事 戸所 岩雄氏、事務局長 林 宏一氏、会計 伊藤 文訓氏が金沢クラブを訪ねていただきました。そして一人一人の思いを聞いていただきました。

私はワイズと我が家の今を聞いて頂きました。朝倉はYMCA を引継ぎ、理事長を受けていました。何度も金沢クラブから誘っていただいていたのですが、その時金沢には二つのクラブが有り、一方にだけ入るのではと入会していませんでした。私は 5 年前に山内会長、數澤メネット会長に誘って頂いて「はい！入ります。」と喜んでお返事しました。朝倉の金沢YMCA への連絡の助けになるかとも考えました。朝倉を引っ張ってクラブに出席しています。

家庭では朝倉が 9 月に後期高齢者になるのを機会に運転免許を返納しました。元気な内に返納するのが本人の気持ちでした。ゴールドで返納できたことを喜びました。それでも何だか寂しい気持ちが私に有りました。これから先、例会に出席するには家からの遠さも有って私が運転を頑張らなくてはと考えたりしてネガティブな気持ちにもなりました。

そんな中、9月の第一例会には出席者20名と沢山の参加者に喜びました。また、10月には以前会員だった90歳ぐらいの方が出席されて「今日は参加できてとても嬉しいです。ありがとう」と喜んでいただきました。その姿を見て私はワイズのメンバーでまだ居たいと思いました。

「メネット会の存続と活動の拡大を願う」

金沢クラブ会長 山内ミハル

亡夫山内健司が金沢ワイズメンズクラブに入会した翌年だったと思いますが、当クラブにメネット会が発足しました。1984年のことです。その年、金沢クラブから部長を出すことになり、今は亡き小笠原昭治ワイズが、「部長のクラブにメネット会がないのはよくない。ぜひメネット会を」ということで、組織されたようです。初代会長に私(山内)が任命され、メネット主査を引き受けられた千葉主査と共に、メネット会活動の盛り上げのため、ワイズの例会には、メネットも同席すること、月に1回のメネット会例会をもつことを推奨しました。日頃はそれぞれ別の職場で働くもの、主婦業に専念するものたちが、ワイズ例会と、メネット会例会で交わりを深めていきました。メネット会例会にはメンの参加も歓迎ということで、仲間の輪、夫婦の輪も広がっていきました。

特に主婦にとっては、月1回、夕食の準備の必要はなく、夫と共にホテルでおいしい夕食に舌鼓を打ちながら、地域で活躍する方々からの卓話をきいて見聞をひろめ、研鑽の時を持てることは大きな楽しみであり、喜びでした。また、家庭では見られない夫の一面を知る機会ともなりました。メネットを同伴しての例会は、夫婦の絆を深めることと信じています。

話は変わりますが、当クラブでだんだんメンバーの老齢化と、若手の入会の減少から、メンバー数の減少を食い止めることができず、「メネットを会員にして、女性メンバーをふやしたら？」という意見が出ました。その時、当時メネットであった私は反対しました。メネットのために年会費を出せるなら、そ

れを身近にいる若者のために使ってはどうか。若い人は年会費が高くて…と、いう人もいるだろう。その人に会費を出してあげて入会を促してはどうか」というのが私の考えです。メネットはいつでもワイズ活動はできるのだから、メネットのために出せる会費を、知り合いの若い人のためにささげた方がEMCにとっても有効ではないかと思うのです。

とにかくメンは、例会にメネットを同伴し、夫婦そろってワイズ活動を楽しみたいものです。

「EMCについて思うこと」

びわこ部近江八幡クラブ 堀江 宏

1) まえがき

2019年8月号の理事通信で戸所岩雄日本区理事は会員の色々なスキルを求める広報を出され、主導の前田香代子国際交流主任からのお勧めも頂きましたので、私は少しためらいながらも拙文を提出することといたしました。内容としては、EMCの問題について、少し視点を外して申し述べるものとなっております。

2) EMCのC

私の直近の関心はCにあると思っております。

ここで問題:学校のプール開きに備えて、前日満水にしていた水位が当日になって少し下がっていた。考えられる対策:先ず栓が確実に閉まっているかを点検する。である。まさか水の補充を先にすることは考えられない。ワイズの会員数が減って行く対策は先ず出て行く水の退路を断つため、退会防止に努めることが大切であると思えます。

EMCの集会に行くと、クラブの代表が、「本年度は3名の増員です」など威勢の良い発言をしますが、「捕らぬタヌキの皮算用」であります。それよりも今ある「捕ったタヌキの皮算用」をする方が現実的です。それには先ず「捕ったタヌキの皮算用」の実態を知るべきであると考えます。不可抗力として、医療・福祉の問題としても、人間のさがとしても、自然減が考えられます。しかし、だからと言って優先順位として会員増強に行ってはならないし、地味に対策を立てるべきであると思えます。

先ず現実を直視すると、ワイズメンズクラブには這い上がれない落とし穴があります。元来奉仕クラブは文化的でありました。しかし現況は経済的であります。文化人は経済人によって駆逐されつつあります。そして経済界の論理が方策として採用されています。翻って日本人の反省として、世論は「経済から文化へ」が叫ばれている昨今、ワイズは困っております。かといって経済的にしっかりしていなければクラブは存続せず、YMCAを支援することも出来ません。そこでワイズも文化的より経済的になるのは仕方ありません。具体例で示しますとクラブの大切な例会に使われる経費は会場費と食費と講師の謝儀などですが、これに予算を使い過ぎるとクラブ本来の奉仕が出来なくなります。そのために会員数を増やして解決しようとする。これは会員増強には味方しますが、EMCのMにもEにも問題を残します。今はCの問題ですので、この件は後述の「EMCのM及びE」の項で述べさせていただきます。さて会員数減少として、自然減は不可抗力ですが、会員の高齢化対策は重要です。特に会費が年金で払えるかの問題に注目すべきであると考えます。残念ながら払えない会員は名誉ある退会も仕方ありません。しかし家計簿の固定費として会費が計上可能な人の退会には最大の注意を払うべきですが、あまり注目されていません。クラブ会長や部の要職に就き、指導的な立場にあった会員が、レジェンドとして鳴かず飛ばずになった時に退会の危機が来るのではないのでしょうか。元来名誉職志向者だったと言えればそれまでですが、クラブの怠慢が惜しい人を逃してしまったという事例も、

案外多いと推察されます。しかし家計簿でクラブ会費が固定費を圧迫しても、毅然としてワイズ会費を払い続ける会員もいます。またこれは年金受給年齢に達しない人にも当てはまることです。要するにその会員がワイズメンズクラブを生きがいとしているか否かが問題であると思います。

3) EMCのM

我々は例会などで、色々な講話を聴きますが、ワイズと直接関係がないと思われるテーマでも、自己研さんのため講師料を払ってでも来て貰っています。会員数の多いとか少ないとかに拘らず必要経費です。聴衆が10名でも100名でも謝礼の金額が変わらないのであれば、100名で聞く方が経済的な効率はいいですが、聴衆の質のレベルアップには問題が残ります。EMCのMはこの分野だと教えられました。集団の人数を増やそうとすると質の低下は避けられないのが通説です。例えばクラシック音楽愛好者を増やすためには、映画音楽・民謡、更には演歌までも演奏して愛好家を増やそうとしますが、クラシック音楽の質の低下は免れないと言います。ワイズにはそんなことはないと期待しておりますが、経済的な効率ばかりを追求しているとMの低下が来るという恐ろしさは知っておくべきと考えます。少し追加しておきますと少人数の集会では、家族的に講師との突っ込んだ会話が交わされたりして、Mの向上につながるという思わぬ利点がることを付け加えたいです。

4) EMCのE

ここで横道にそれますが、小堀理論に触れておかねばなりません。奉仕クラブは奉仕よりも先ず親睦だと言う大胆なご指摘で、京都地区にワイズが一大拠点を創生した理論の提唱者ですが、本論に戻って、退会防止と同様、会員増強に大切なことは親睦です。その態度としては入会希望者と単純に向かい合うことと“待ち”の姿勢を堅持して直ぐ入って貰わないことも選択肢の一つです。軽く「楽しくやっているから一度来てくれ」で勧誘し、入会数－退会数＝1名でも増強にはなりますし、「入会してやっている」という買い手市場に立たれる人も将来案外戦力になることもあるのでクラブの実情に合わせた選択をするのが賢明かと愚考いたします。「人生色々、ワイズ色々」であります。

さてEについて、ワイズメンズクラブのE(Extension)には他の奉仕クラブはいざ知らず、会員増強についての流れがあります。最近十名前後に目減りして行くクラブが多いために、多くの会員数を持つクラブはただ称賛されるのみですが、別の流れもあります。会員が二十数名になって来たらE(Extension)なので、新しいクラブを立ち上げる準備をしなければならないという意見です。クラブが活性化するためには現在のクラブ活動に異議を唱えたり、未開発地域に着目したりすることは大切な動きであります。町内会・PTAと違いMを着実に浸透させるためには、人数に限界があります。政治の世界でも、内閣の構成員数を、あのお手盛り上手な議員さんでも二十数名を厳守しているのは、一番まとまり易い人数としているからで、このEが会員増強の選択肢として考えられることをお知らせしたいです。(小堀理論より)

以上あまり話題にならないこと、突っ込みが足りない問題、小堀理論をおもい出したりしながら書かせていただきました。失礼の数々をお許し下さい。

「自分は役立っている」と実感するのに、相手から感謝されることや、ほめられることは不要である。貢献感「自己満足」でいいのだ。(アルフレド・アドラー)

有難うございました。

周年例会情報

* 詳細については各クラブにお尋ねください。

和歌山クラブ 70周年	2019年12月1日(日)	ホテルグランヴィア和歌山
鹿児島クラブ 30周年	2020年1月18日(土)	ジェイドガーデンパレス
京都エイブルクラブ 30周年	2020年2月15日(土)	京都ホテルオークラ
神戸クラブ 90周年	2020年2月22日(土)	ANAクラウンプラザホテル神戸
熊本クラブ 70周年	2020年3月15日(土)	キャッスルホテル
京都ウエストクラブ 40周年	2020年5月5日(火・祝)	国立京都国際会館

和歌山ワイズメンズクラブ
和歌山ワイズメンズクラブは、1949年12月5日にチャーターし、本年12月に70周年を迎えます。

これまでに、和歌山YMCAの設立、和歌山市のクラブの設立など、地域社会に役立つ活動を行い、5年ごとの節目には記念例会を開催し、足元を固め、新たな未来へ向かってまいりました。

この度、下記要項で70周年記念例会を開催します。

皆さまご出席下さり、盛大なご祝賀を申し上げます。

和歌山クラブ会長 巧藤 隆介

開催日時：2019年12月1日(日)
受付開始：午前11時15分～
開会：正午12時 閉会：15時予定
会場：ホテルグランヴィア和歌山 6階 ル・グランの間
〒640-8342 和歌山市友田町5丁目18番地
JR和歌山駅・中央口すぐTEL.073-425-3333
参加費：1万円 中5人旅行 回数 14720 番号 15425681 定額 納金
他の金額欄から4の番号[英和]第7八 [請求]478 普通預金 1542568
アトラクション：『マリンバ演奏』 坂本 基子

参加申込：近和管内の会員の方は、クラブで取りまとめ自由用紙でFAXかE-mailでお申し込みお願いいたします。▼2019.11.20日

クラブ会費 西田 純彦
〒640-8435 和歌山市吉里 3F-12
電話/FAX 073-451-0107
携帯 090-9902-4579
E-mail k.kimura@wsc.or.jp

鹿児島YMCA
創立10周年記念式典

鹿児島ワイズメンズクラブ
創立30周年記念例会

— プログラム —

受付開始 12:30～
礼拝式典 13:30～14:30
記念講演 14:40～15:25
懇話会 15:40～16:40
散会 17:00～19:00

2020.1/18(土)
会場：ジェイドガーデンパレス 4F 飛天
鹿児島市上通町1-9番1号
TEL.099-251-1711

参加費 ¥10,000



京都エイブル
ワイズメンズクラブ
30周年記念例会

■日時：2020年2月15日(土)
開会 17:00～20:30

■場所：京都ホテルオークラ 4階 (機張の間)
TEL.075-211-2111
京都府中京区河原町御池西

■受付開始：16:00 ■開会：17:00
■登録費 10,000円
■登録申込受付 砂嶋一廣 Y's 元
FAX.075-245-1286
Email:sunaji@inbox.kyoto-net.or.jp
■登録申込締切 2019年12月20日(金)
(※お申し込みは、クラブ単位でお申し込み下さい。)

◆第一部 記念講演(17:00～17:50)
講師：菊山紀彦氏
講演主題：「国際宇宙ステーションの世紀」
— 守ろう地球めざそう宇宙 —

◆第二部 記念式典 祝宴(18:00～20:30)

神戸ワイズメンズクラブ
創立90周年記念例会

私たちはユースを応援します!!
神戸YMCAと共に!!

日時：2020年2月22日(土)午後2時より
場所：ANAクラウンプラザホテル神戸(新神戸駅前)
会費：10,000円

神戸ワイズメンズクラブ
90周年会長 尾上尚司
実行委員長 井出 浩



70年！受継ぐ志し、次の時代へ
～小さなことにも大きな愛で～

1949 CN
1975 25周年
2000 50周年

2019 ボニーキャンプ(後継陣のみ)
1989 日韓交流(後継陣のみ)
1960 子羊会(後継陣のみ)

熊本ワイズメンズクラブ 70周年記念例会
2020年3月15日(日)
11-12時 記念例会 12-15時 祝宴
会場：熊本ホテルキャッスル(Tel.096-326-3311)
〒860-8565 熊本県中央区蓮葉町 4-2
参加費：¥10,000

1980
1988
1993

40th

2020

京都ウエストワイズメンズクラブ
www.kyoto-west.com

国立京都国際会館
2020年5月5日(火曜・祝日)

区大会情報

第23回 西日本区大会
by びわこ

ワイズメンズクラブ国際協会




こころ豊かに
風となれ ひかりとなれ

公開講演会
山折哲雄氏 (1897-2007)
「日本人のこころと文化」

2020年
6月13日(土) 14日(日)

大会会場：びわ湖ホール
琵琶湖ホテル

ホストクラブ
近江八幡クラブ、彦根クラブ、彦根シャトークラブ
長浜クラブ、草津クラブ、滋賀酒生野クラブ



Feel refreshed with Y's spirit
緑あふれる十勝に集まるう!!



ワイズメンズクラブ国際協会
第23回東日本区大会
2020年6月6日(土)
会場 ホテル日航ノースランド帯広 (北海道十勝の国★帯広市西2条南13丁目)

■ホストクラブ：十勝クラブ ■協力クラブ：北海道各クラブ

理事事務局から

書記 河口 裕亮
理事事務局長 林 宏一

各クラブ、各部などで西日本区内に広く周知したい情報等があれば、書記および理事事務局長までお知らせください。

e-mail: hiroaki@hikonnnect.co.jp

e-mail: confiture.de.roses@ray.ocn.ne.jp